



JAゆうべつ町



KAGAYAKU TSUBASA

# 輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だなと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれる様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。



ふれあいふるさと集会（11月12日開催）

**2019.12** vol.171

# J A北海道大会 実践フォーラム開催

北海道550万人と共に創る

「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」

J Aグループ北海道は11月12日にJ A北海道大会実践フォーラムを札幌市教育文化会館で開催し、当組合から役員、青年部、女性部員など5名が参加し、全道から約1,000人の関係者が集まりました。

今回のフォーラムは、昨年行った第29回J A北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題をJ Aグループ全体で共有し、グループ内外へ実践状況を発信する事で組合員・J A・連合会が一体となり決議事項の実践を加速させ、大会で掲げた将来ビジョンの実現を目指す事を目的に開催されました。

事例発表は、大会決議事項1の「農業所得の増大と多様な担い手の確保育成」に関する実践事例として、J Aこしみずから「地域での連携・協同した労働力確保の実践について」の報告がありました。また、大会決議事項2の「次代につなげる協同組合の価値と実践」に関する実践事例としてJ Aさっぽろ・J Aふらのから「道内J A

における準組合員との関係づくりに向けた取り組み」の事例発表もありました。

J Aグループ北海道は、北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて組合員・J A・連合会が各役割を再確認し協同の力と総合力をフルに発揮し一丸となって決議事項の実践を通じた自己改革に取り組んでいきます。



# 第49回オホーツクJ A青年部研修大会に参加

～J Aゆづべつ町青年部～

J Aゆづべつ町青年部は、11日に開催された「第49回オホーツクJ A青年部研修大会」に参加し、今年度行った教員ファームステイの受入実績報告と、1分間CMコンテストでの発表を行いました。

1分間CMコンテストでは、湧別農村の魅力あふれる景色やダイナミックな農作業の様子をドローンで撮影した他、青年部の食育活動をきれいにまとめあげた作品を石田副部長が中心となって作り上げ、見事優秀賞を獲得することが出来ました。



▲農村ホームステイ受入実績を報告する菅井部長

また、農村ホームステイの受入実績では、菅井部長が湧別小学校の吉村教頭先生を受け入れた実績について報告し、ホスト役を務める農家側の大変さや、受入のやりがい、新たなつながりができた喜び等を伝えました。

今後のJ Aゆづべつ町青年部の更なる発展に向けて大きな一歩を進んだ大会となったことでしょう。



▲1分間CMコンテストでは優秀賞を獲得しました



# ふれあいのふるさと集会開催

JAゆうべつ町青年部

11月12日、湧別小学校で「ふれあいのふるさと集会」が行われ、JAゆうべつ町青年部では、今年度の食育活動で収穫したじゃがいもを焼いてふるまった他、三・四年生へ酪農に関する授業を行いました。

今年度収穫したじゃがいもは出来がよく、児童たちはあつあつの大きなじゃがいもを嬉しそうにほおばっていました。



また、児童向けの授業では、教員ファームステイとして吉村教頭先生を受け入れた様子を、人気テレビ番組のパロディ風に仕上げたスライドにして、酪農家の仕事について伝えました。最後には「授業おもしろかった」と、とても興味深く聞いてくれた児童たちよりうれしい言葉をいただきました。

# 瞰望岩を目指しハイキング

女性部リフレ部会

JAゆうべつ町女性部リフレ部会は、10月23日、秋晴れのなか遠軽町のランドマーク、瞰望岩を目指してハイキングを楽しみました。

遠軽神社の鳥居をくぐり、家族と家畜の健康を祈願したあと瞰望岩の斜面を登ります。予想以上に急な斜面で息の上がる部員もいましたが、色とりどりの落ち葉を踏みしめながら岩肌を歩く気持ちよさは格別でした。



地上から歩くこと15分、瞰望岩頂上から見渡す遠軽の街並みは、時折列車が走っておりまるで模型のような景色でした。しばらく風景を楽しんだあと、虹の広場を通り、仕事や育児の話に花を咲かせながら帰路につきました。



# 第27回 通常総会兼温泉保養終了

湧別地区年金及の会

去る、11月4日から6日までの二泊三日で、定期総会兼温泉保養が今年も「塩別つるつる温泉」にて会員35名参加のもと盛大に開催されました。

斉藤会長の挨拶から始まり、議長は端場栄吉氏が務め提出議案が全件可決され無事総会が終了いたしました。

午後六時からの懇親会では、先輩の物故者に黙とうを捧げた後に懇親会が始まり、例年通り、ビンゴ大会で大いに盛り上がり、カラオケ大会と進み楽しいひと時を過ごしました。

二日目の午前中は、パークゴルフ、映画鑑賞、ゲーム大会と各々が大いに満喫していました。午後からは、恒例の花札大会とゲーム大会及び映画鑑賞を開催しました。夜の懇親会では、パークゴルフ、花札大会ゲーム大会（午前・午後の部）の表彰とビンゴゲーム、カラオケ大会で最後の懇親会を大いに楽しみ温泉保養を過ごしました。二次会及びスナックでの三次会でも沢山お美味しいお酒を頂き温泉

保養を終えました。

会員の皆様におかれましては、これからも元気で来年も楽しい温泉保養に行く事を楽しみに待っています。

令和2年度におきましても、恒例の行事を予定しておりますので多数の参加をお待ちしております。また、これから年金を受給される方には、農協までご相談をお願いします。



▲参加者全員で記念撮影

# トラベルプラン積立旅行開催

芭露支所金融共済課

11月11日から15日の5日間の日程で、本年度もトラベルプランを開催し16名の方々が参加されました。

今年で30回目を数えるトラベルプランは、伊勢・関西の歴史に触れる旅行になりました。

空路、新千歳空港を経由し中部国際空港セントレアへ移動。名古屋城をかきわきりに伊勢神宮（内宮、外宮）、春日大社、東大寺、興福寺、平等院と三重、奈良、京都を観光致しました。

天候にも恵まれ、参加者達は普段味わえない、楽しい時間を過ごせたことでしょう。



# 感謝を込めて

80歳記念品贈呈

11月25日、これまで湧別町の農業振興と発展にご尽力いただいた、満80歳（昭和14年生まれ）の方々に感謝の気持ちを込めて個別に訪問し記念品の贈呈を行いました。

記念品の贈呈者は次の通り。

伊藤 三重子

（東農事組合）

横尾 愛子

（信部内農事組合）

越智 文子

（芭露第一農事組合）

加藤 卓

（東芭露農事組合）

大塚 真見

（西芭露農事組合）

佐々木 美代子

（計呂地新和農事組合）



## 「酪農」をテーマにふるさと講座で講義

10月26日、町民有志で構成するふるさとから学ぶ会と教育委員会の共催で「ふるさと講座」が湧別町農協本所で開催されました。

今回の講座のテーマは、町を支える重要な産業の一つである「酪農」。町の酪農の現場を担い実状を良く知る4名が講義を行い、湧別町農協より友澤組合長と野田参事が講師として参加しました。

野田参事は「湧別町の酪農のあゆみ」と題し、湧別町の酪農の歴史や、規模拡大に関する現状や問題などを説明しました。



▲講義をする友澤組合長



友澤組合長は「酪農への思いを語る」と題して、乳牛の飼養頭数が全国の市町村で11位(平成29年)を誇る湧別町の酪農を守るために農協が行っている取り組みを説明しました。

今まで酪農や牛の事を良く知らなかった参加者もいて、今回の講座は知識を広げられる良い機会となったようでした。

## 『和食給食を』を導入する

### 保育園の食育を学ぶ

～湧別町農民連盟～

湧別町農民連盟は、11月19日に『映画で見る食の社会見学』と題し、ドキュメンタリー映画『いただきます〜みそをつくる子どもたち〜』の上映会を開催しました。

今回の映画は、福岡市にある高取保育園が取り組む独自の「食育」によって、食べるものが生きることだと学んでいく子どもたちを描いた作品です。玄米と野菜を中心に、みそ汁、納豆、漬物などの発酵食品を合わせた和食の給食で、味噌や漬物も園児たちがみんなで作ります。

今回参加された来場者は皆、普段何気なく食べている和食のありがたみを再認識した上映会となったことでしょう。



▲上映中の様子

## 新たに職員を採用

湧別町酪農ヘルパー利用組合

湧別町酪農ヘルパー利用組合は11月1日より武藤しおりさんを専任ヘルパーとして新たに採用しました。

組合としましては、およそ20年振りとなる女性職員となります。他の専任ヘルパー共々、これから宜しくお願いします。

また、職員の育成と事故防止の観点から引継内容や治療牛のマーカーキング等について、改めて整備いただきます様ご協力お願い致します。



▲山崎組合長より辞令交付を受ける武藤さん





## 畑作

異常気象に耐えられる畑作りを  
小さな手間で大きな効果を

近年、集中豪雨が続いたのち、(ここでは、20mm/日以上)の雨をいいます)、干ばつが続くという極端な気象条件が続いています。

(図1)。そして、今年の5月26日には、佐呂間町にて、39.5℃と北海道歴代最高気温を大幅に更新するなど、その地域で30年に一度程度しか起こらないような、「異常気象」が続いています。

よって、今後の農業経営には、「異常気象」になる兆しを様々な情報から早めに察知し、どのように対応するかが重要となってきます。そこで、今回は「異常気象」に対応するための、ほ場づくりの一つである「透排水性改善」についてとりあげます。

### (一) ほ場の特性を把握する

透排水性の良いほ場の目安は、20mm/日の降雨後24時間後に、ほ場に入れることです。「まず、自分のほ場がこれに当てはまるか?」から検討しましょう。当てはまらない場合は、ほ場の排水不良要因

を把握し、不良要因ごとの対策を立てましょう。この時、ほ場の周囲の影響により(例:ほ場が周囲より低い場所に位置し、周囲の水が集まるがその排出先がない状態など)排水不良が起きている場合もあるのです。ほ場内外の要因の把握を行いましょう。それを把握整理し、自己でできること、業者による施工が望ましいことに分け改善しましょう。

### (二) 自らできる排水対策

自己所有機械で対応できる停滞水対策として、ほ場内明きよ(溝きり)、心土破砕(プラウ・サブソイラー)、額縁明きよの組み合わせがあります。

しかし、暗きよが機能していないと効果がないので、合わせて、明きよの清掃も行いましょう。

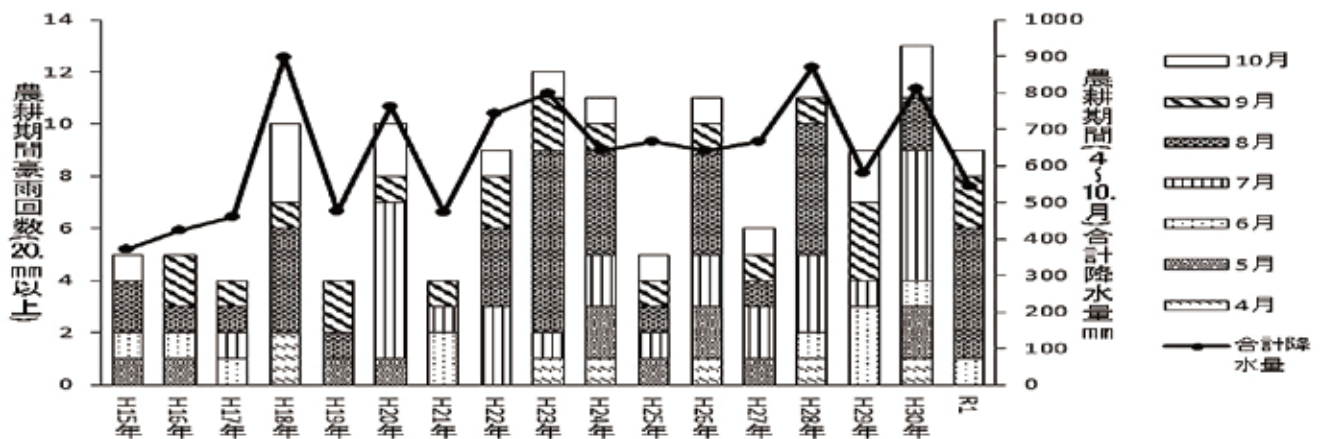


図1 農耕期間(遠軽町4月～10月)の20mm以上/日の降雨回数と合計降水量の推移

## 畜産

今年のサイレージ用  
とうもろこしの作柄について

### (一) 今年の気象経過

今年の融雪は平年並に推移し、その後は好天にも恵まれました。播種作業も順調に進んだため、出芽は平年より六日ほど早まりました。気温は、5月中旬～下旬、7月中旬～下旬で、平年を大きく上回り、生育期間中の積算温度は平年よりも高かったため、雄穂抽出・絹糸抽出も早まりました。

日照時間は、4月上旬～5月下旬にかけて平年を上回りましたが、6月からは平年並みに経過しました。

降水量は、8月上旬～10月にかけて断続的に雨がりましたが、生育期間中の総量は平年並みとなりました。(表1)

### (二) 今年の作柄

草丈・稈長は、平年よりも高い傾向で、黄熟期は平年よりも六～十日程早まりました。沿岸部と内陸部で、ほ場間差はあったものの、生収量・乾物収量・TDN収量は平年を上回る結果となり、登熟も



順調に進んだことで、飼料中のデンプン価が期待されます。(表2)

(三) 来年度に向けて

播種時に欠株が多いと、収穫量に大きく影響します。播種前には試運転を行い、種子の間隔や深さを確認します。種子のサイズと播種板のマッチングや、播種機に適した作業速度の確認を行って、品種毎の栽植本数確保に努めましょう。

湿地に弱い作物なので、ほ場の計画的な排水対策が重要です。また、土壌分析によるほ場状態の把握、収量性・登熟性・耐病性や耐倒伏性に優れた新品種を見直すことも一考です。



表1 令和元年気象(5/1~9/30)の各積算値と融雪期

	降水量(mm)	日照時間(時間)	積算気温(℃)	融雪期(月/日)
遠軽町	467 (441)	825 (796)	2,548 (2,383)	4/11 (4/11)
佐呂間町	495 (460)	845 (840)	2,514 (2,346)	4/8 (4/9)
湧別町	422 (415)	872 (882)	2,501 (2,280)	4/9 (4/9)

表2 令和元年サイレージ用とうもろこしの収量(kg/10a)と黄熟期

	生収量	乾物収量	TDN収量	黄熟期(月/日)
遠軽町	6,037 (5,514)	1,780 (1,571)	1,225 (1,111)	9/23 (9/30)
佐呂間町	5,497 (4,906)	1,649 (1,371)	1,180 (868)	9/19 (9/25)
湧別町	5,256 (5,662)	1,680 (1,298)	1,212 (907)	9/20 (9/30)

注) () カッコ内は平年値

調査：普及センター、関係機関による

甜菜の収穫・出荷作業について

今年度も、10月20日より甜菜の出荷作業が開始されました。

今年度の出来高については、春の順当な移植・直播作業に始まり、天候も安定していたことから、例年を超える収量が期待されます。収穫時期の天候も良く、順調に収穫作業を終了致しました。糖分についても、圃場による差は大きいものの、ほぼ基準糖分以上の結果となっております。

運搬につきましては、昨今の運搬車両の不足により、当初日程が大幅に変わる事が多く、組合員の方々へご迷惑をお掛け致しました。無事に出荷を終了致しました。



# 農協 お知らせ 版

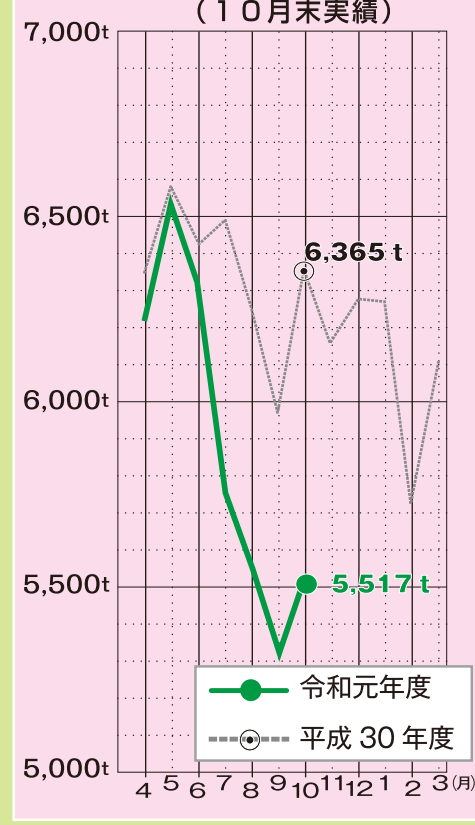
令和元年度 第9回理事会  
10月23日開催

## 報告事項

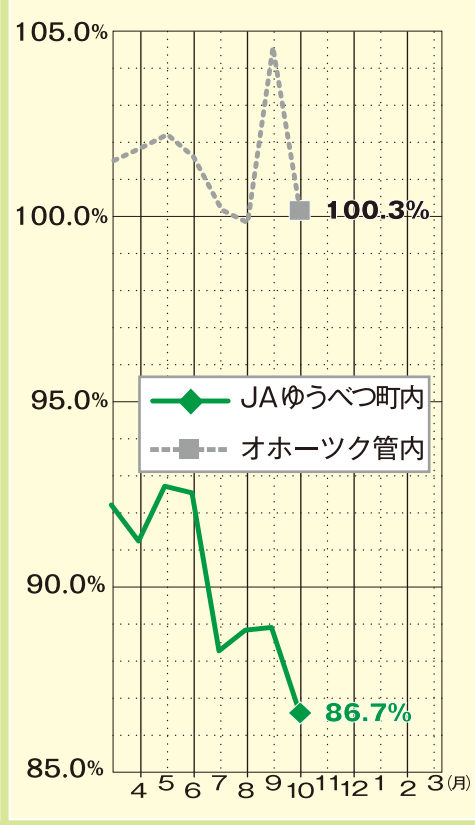
- ① 全道共進会について
  - ② 第3四半期棚卸について
  - ③ 生乳受託販売委員会・道酪畜対について
  - ④ 内部・代替的監査について
  - ⑤ 化製場畜魂慰霊祭・農協連畜産事業運営委員会について
  - ⑥ オホーツク農協酪畜対について
  - ⑦ 収穫感謝祭について
  - ⑧ 畜産物基金協会視察研修について
  - ⑨ 令和元年度JA共済コンプライアンス点検実施報告について
  - ⑩ 自由金利型定期貯金の受入れと貯金残高の推移について
  - ⑪ 令和元年 9月末生乳産実績について
- 協議事項  
① 組合員の異動について

## 令和元年度 生乳出荷状況について

JAゆうべつ町生乳出荷乳量推移 (10月末実績)



生乳出荷乳量との前年比較



- ② 監事監査の指摘事項に対する回答について
- ③ JA北海道大会実践フォーラムへの参加について
- ④ 営農懇談会の開催について
- ⑤ (有)アグリサポートばろう(子会社)への貸し付けについて
- ⑥ 理事への貸し付けについて
- ⑦ 贈与税納税猶予に係る債務保証の解除について
- ⑧ 令和元年度台風等に係るJAグループ支援募金活動について
- ⑨ 高齢者に対する記念品の贈呈について

「必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も」

# 北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。)に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

**最低賃金金額 時間額 861円**  
効力発生年月日 令和元年 10月3日